

# 水位周知河川、簡易型河川監視カメラ、危機管理型水位計について

## 1 水位周知河川

### (1) 水位周知河川の状況

・河川の規模や人口・資産の集積状況等を考慮し、**洪水予報河川3河川と水位周知河川38河川を運用済み。**

### (2) これまでの取組内容

・令和4年7月大雨被害を受け、市町村へ追加要望調査を実施。  
・令和5年に名蓋川(北部管内)を水位周知河川へ指定。

### (3) 令和7年の取組内容

・令和7年6月より、夏川(小谷地観測所)に基準水位を設定し、運用開始。

### (4) 令和8年度の取組内容

・令和8年6月より、名取川(余方観測所)に基準水位を設定し、運用開始を予定している。  
・運用河川は、**洪水予報河川3河川と水位周知河川39河川となる予定。**

## 2 危機管理型水位計

### (1) 危機管理型水位計の概要

・「中小河川緊急対策プロジェクト」(平成29年12月)において、洪水に特化した低コストの水位計(危機管理型水位計)の設置を位置付け。(設置費用は、300万円/基程度)  
・河川の水位が一定の水位を超過すると観測を開始し、危機管理型水位計運用協議会ウェブサイト「川の防災情報」で表示され、誰でもリアルタイムで川の水位が確認が可能。

### (2) 令和5年度の取組内容

・令和4年7月の大雨被害を受け、**市町村要望を反映し、追加箇所を検討した。**

### (3) 宮城県内の設置状況

・平成30年9月から運用を開始し、県内132か所で運用中。  
・令和7年6月から、県内9基を追加し、合計141基で運用している。  
・**仙台湾圏域に係る設置については、鶴田川に1基を運用開始した。**

### (4) 令和8年度の取組内容

・設置済み箇所の機器を更新する。



図：設置状況(参考)

## 3 簡易型河川監視カメラ

### (1) 簡易型河川監視カメラの概要

・平成31年1月に改訂された「水防災意識社会の再構築に向けた緊急行動計画」中に、簡易型河川監視カメラの設置が位置付け。  
・機能を限定(ズームや首振り機能を削除。設置費用は、300万円/台程度)。  
・「川の防災情報」で誰でもリアルタイムで確認可能。(10分毎の静止画像)

### (2) 令和5年度の取組内容

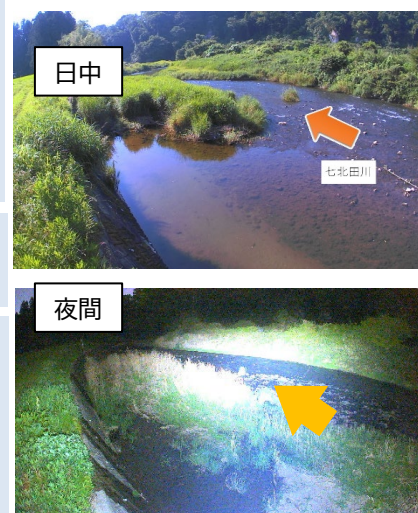
・令和4年7月の大雨被害を受け、**市町村要望を反映し、追加箇所を検討した。**

### (3) 宮城県内の設置状況

・令和3年4月から運用を開始し、県内93箇所で運用中。  
・令和7年6月から、県内32基を追加し、合計125基で運用している。  
・**仙台湾圏域に係る設置については、七北田川2基、梅田川1基、砂押川1基、鶴田川1基を運用開始した。**

### (4) 令和8年度の取組内容

・設置済み箇所の機器を更新する。



図：監視状況(七北田川：無串橋)